



仕事と治療の両立について

-IBD 患者さんへのアンケートを通して-

炎症性腸疾患内科部長

吉岡 京子



炎症性腸疾患 (IBD) とは、クローン病や潰瘍性大腸炎、消化管ベーチェットなど、腸に炎症をきたす疾患です。これらは生涯に渡って付き合っていく必要がある慢性疾患であり、特に働き盛りの年代で発症することも少なくありません。病気と付き合いながら、仕事を含めた社会生活をいかに自分らしく行えるのかは永遠のテーマとなります。

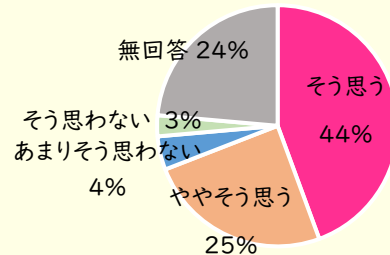
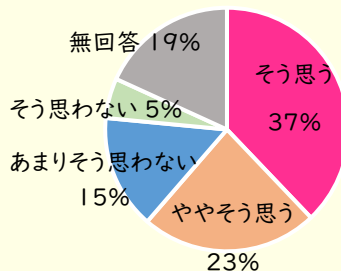
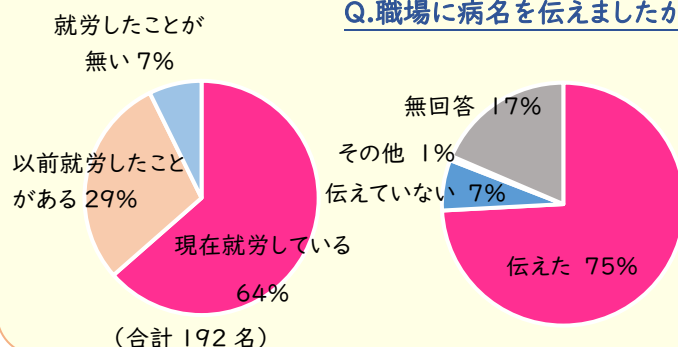
当院の患者さんの現状を把握するため 2023 年5月から 11 月の間に、炎症性腸疾患の方を対象に『仕事と治療の両立に関するアンケート』を実施し、192 名の方から回答をいただきました。

『仕事と治療の両立に関するアンケート』集計結果

Q.就労状況について

就労中、または就労歴がある方
(178 名) に質問就労中、または就労歴がある方で
職場に病名を伝え方 (134 名)
に質問就労中、または就労歴がある方
(178 名) に質問

Q.職場に病名を伝えましたか？

Q.職場に病名告知後、
働きやすくなりましたか？Q.病気の症状とうまくつきあい、
自分らしく働けていましたか？

患者さんからのメッセージ ～心をつなぐエール～



IBD 患者さんへのアンケートを通して、同じ悩みを抱えながら一生懸命頑張っている仲間に一言メッセージをいただいております。沢山の声をありがとうございました。ごく一部となりますが、ご紹介します。



『今は年齢を重ねて病状も落ち着いており、治療方法も増えています。若い時は寛解と発病を繰り返し、仕事もままならず、自暴自棄におちいった時もありました。「なぜ自分だけ」と思う日々を支えになってくれたのはやはり家族でした。患者さんに心から向き合いサポートしてもらえるような世の中であってほしいものです。』(57歳男性)



『発病から 5 年くらいは症状がひどく辛かったけれど、ある時期から日常生活に支障がないほど落ち着いて、食事も普通に食べられるようになったので、今症状が辛い人もよい薬がたくさん出てきて、楽になる時期が来ると思うので諦めず頑張ってください。』(51 歳男性)

次ページへ続く→





『自分一人で悩まず、いろいろな人に積極的に話をした方がいいと思います。頑張りすぎず、できる事、できない事を認める
 ということだと思います。』(53 歳男性)



『発症後数年は、急な発熱や入院などで職場に迷惑をかけたこともありましたが、最近は病気との付き合い方を覚え、体調
 を崩すこともなくなりました。仕事との付き合い方も大事ですが、まずは病気とうまく付き合うことが肝要だと思います。』
 (44 歳男性)



『とりあえず病気のことを上司に伝えておくといいです。やっぱり人と人とのコミュニケーションが大事だと思います。
 甘えられる時に甘えておく。代わりはいくらでもいます。疲れた時は休む。健康が一番です。無理して頑張っていると誰かが
 見ていてくれますが、後から精神が病んできますので時には自分を甘やかすことが大事です。』(32 歳女性)



『仕事との両立は慣れるまで大変だと思います。自分の体は自分にしかわからない所もたくさんあると思うので無理せず”
 つらい””休みたい”と言える事も上手く病気と付き合っていくポイントなのかなと思います。相手に理解してもらうのも限界
 があるな〜と病気と付き合ってきて感じました。職場では 1 人だけではなく一緒に働く全ての方に知ってもらう事で大変な
 時、みんながサポートしてくれると思います。病気、病状をより知ってもらう機会だと思うし、もっと沢山のの人に病気の事を知っ
 てもらって、今よりもっと社会に出て働きやすい理解のある会社が増えたらいいな〜と思います。』(30 歳女性)



～今回のアンケートを通して～

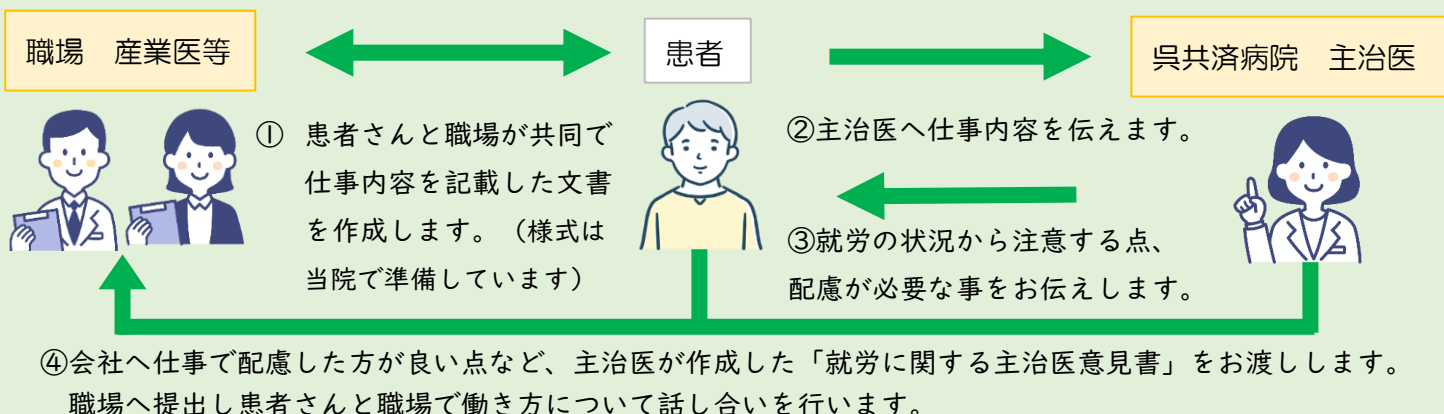
職場の方に病気のことを理解してもらえたら働きやすくなったという声を多くいただきました。しかし、ごく少数ですが、
 心無い反応をされ傷ついたとの声もあり、職場の雰囲気をみながら、自分の納得いく形で相談する必要があると考え
 ます。病気と上手に付き合い、自分らしく働くために、治療と仕事の両立支援のシステムもありますので、うまく利用して
 いただければと考えます。病気と付き合いながら社会生活を送ることは時として茨の道かもしれませんが、皆さんの
 日々の頑張りが、同じ病気を抱える後進の道を切り開くことにも繋がっています。私たちも皆さんの歩みをサポートして
 いきます。ひとりで悩まず気楽にお声かけ下さい。

「治療を続けながら、働き続けたい…」皆さまへ 治療と仕事の両立支援のご案内

治療継続が必要な病気になると心配になることがいっぱいです。

「働きながら治療継続できるだろうか」「治療期間、病状が落ち着くまでは肉体労働から事務仕事に
 変更してほしい。職場へどう伝えよう」・・・などなど。

呉共済病院では「働き続けたい」という気持ちをもつ患者さんが、治療と仕事を両立できるよう、
 「職場」-「患者さん」-「病院」で情報共有を行いながら支援しています。



詳しくは、**呉共済病院 地域医療連携室**（1 階総合受付）
 医療ソーシャルワーカーまでお気軽にご相談ください！！



新任医師



のご紹介



泌尿器科

まんだい ま ゆ か
万代 真由香

専門：泌尿器科

はじめまして。この度 4 月より着任しました。
呉市の地域に貢献できるよう日々精進いたします。
どうぞよろしくお願い致します。

呼吸器内科

かわばた しゅんすけ
川端 俊介

専門：呼吸器内科

4 月より呼吸器内科に着任しました。
呉地区の皆さんのお役にたてるよう精進いたします。
何卒よろしくお願い申し上げます。

循環器内科

さいごう まさと
西郷 聖人

専門：循環器内科

4 月より循環器内科に赴任しました。
丁寧な診療を心がけ、呉の医療に貢献できるよう
日々精進していきたいと思ひます。

腎臓内科

かんばら まい
神原 舞

専門：腎臓内科

4 月より腎臓内科に赴任しました。
丁寧な診療を心がけ、呉の皆様の健康に少しでも貢
献できるように尽力します。何卒よろしくお願い申し上
げます。

臨床研修医紹介

総合診療科

木上 侑香 磯本 大也 井上 紗瑛 大橋 宏平 岸田就一郎
迫田 未侑 柴田 菜緒 椿 帆乃香 寺元 優貴 中島 力樹
高井 将輝(歯科)

News & Topics

ダビンチ手術

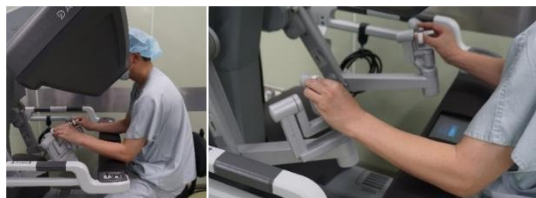
100 症例に到達



当院では、2024 年 4 月から手術支援ロボット「ダビンチ」による手術を開始しました。

泌尿器科から始まり、外科、呼吸器外科と対象診療科も拡大し、2025 年 3 月にロボット支援下手術が通算 100 症例に到達しました。

今後もさらに多くの患者さんが低侵襲な手術を受けられるよう、対象となる手術の拡大を目指すとともに、安全性も高めてまいります。



第 15 回日本炎症性腸疾患学会学術集会にて優秀賞受賞！

地域医療連携室（医療ソーシャルワーカー）道土井 優希

昨年 11 月に、東京都品川区で第 15 回日本炎症性腸疾患学会学術集会が開催されました。学会では、炎症性腸疾患患者さんにご協力頂いた「仕事と治療の両立に関するアンケート」結果を踏まえ、医療ソーシャルワーカーの道土井が研究発表いたしました。‘仕事’は収入を得るだけの手段ではなく、やりがいや自己実現、さらには社会との繋がりを築く場でもあります。当院では、患者さんが仕事を辞めずに安心して治療することができるよう、職場や広島県産業保健総合支援センター・ハローワークなどの支援機関と連携を図り、治療と仕事の両立に関する支援を多職種がチームとなり行ってまいります。



IBD チームは多職種からなるチームメンバーにより「IBD 患者さんをサポートしています！」

第10回呉共済病院 市民公開講座

市民と学ぶがん医療 2025

がん診療委員会 委員長 堀田尚克

当院は「広島県指定がん診療連携拠点病院」として、がん診療に積極的に取り組んでいます。また、がんに関する知識の普及や啓発の一環として、地域の皆様を対象に市民公開講座を開催し、毎回多くの方々にご参加いただいています。

10回目となる今回の特別講演では、元プロ野球選手で野球評論家の角 盈男さんをお迎えし、『前立腺がんとの向き合い方』について、ご自身の経験を交えながらお話しいただきます。当院からは、放射線治療科 吉田 敦史医師『放射線治療のいろは 基礎から実際のガイダンス』、泌尿器科 安東 栄一医師『前立腺疾患と、女性特有の泌尿器科疾患の最前線』の2題です。

がんは多くの方々にとって身近な問題であり、時に深い悩みや不安を伴います。本講座を通して、皆様と貴重な時間を共有し、がんに対する知識を得るだけでなく、病気と向き合う方々への理解を深めるきっかけにもなれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



[特別講演]元プロ野球選手 角 盈男さん

日時：2025(令和7)年7月5日(土)13:00~15:30(開場12時30分)
会場：新日本造機ホール(くれ絆ホール・呉市役所内)
参加費：無料(抽選500名)
事前申込：必要
申込方法：はがき または メール ※詳細は別刷りのチラシをご確認ください。
申込期間：2025年5月10日(土)~6月20日(金)必着

事前申込制
入場無料
手話通訳付

通院をもっと便利・快適に!

試験運行開始します!

病院無料送迎車



運行開始 令和7年6月2日(月)スタート! (土日祝、年末年始除く)
運行時間 平日 8:00~13:00 15分間隔
ご利用対象者 当院をご利用の方

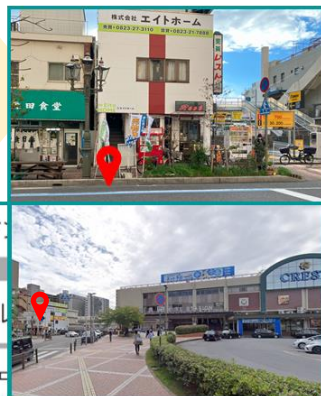
※道路事情等により、発着時間が前後する場合があります。
※満席の場合は次の便までお待ち下さい。

乗降場所

呉共済病院
正面玄関



呉駅の東側
「喫茶レスト」前



【お問合せ先】呉共済病院 総務課